

林兼産業株式会社

2017年3月期 決算説明資料

2017年5月15日

2017年3月期実績		
連結損益計算書の概要	・・・	2
セグメント別の売上高・営業利益	・・・	3
貸借対照表の概要	・・・	4
キャッシュ・フロー計算書の概要	・・・	5
業績の推移	・・・	6
四半期業績の推移	・・・	7
セグメントの状況	・・・	8-13
連結損益計算書	・・・	14
今後の取組み	・・・	15
売上高・利益計画	・・・	16

連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

	2016年3月期	2017年3月期			
		実績	前年増減	当初計画	当初計画増減
売上高	48,245	45,235	▲3,009	48,500	▲3,264
営業利益	819	1,138	319	830	308
経常利益	706	1,099	392	740	359
親会社株主に帰属する 当期純利益	384	693	309	600	93

前期との主な変動要因

売上高	食肉加工品(OEM製品)や肉類の販売数量減少により減収 養魚用飼料の値下げや輸出量減少により減収
営業利益	原材料価格の安定的推移により増益 生産性の向上やコスト削減により増益

セグメント別の売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2016年3月期	2017年3月期			
		実績	前年増減	当初計画	当初計画増減
売上高	48,245	45,235	▲3,009	48,500	▲3,264
水産食品事業	3,868	4,069	201	4,400	▲330
畜産食品事業	21,199	19,855	▲1,344	20,600	▲744
飼料事業	21,011	18,997	▲2,014	21,500	▲2,502
その他の事業	2,166	2,313	147	2,000	313
営業利益	819	1,138	319	830	308
水産食品事業	▲83	19	103	70	▲50
畜産食品事業	739	589	▲149	700	▲110
飼料事業	952	1,413	460	950	463
その他の事業	223	161	▲62	120	41
消去又は全社	▲1,011	▲1,044	▲32	▲1,010	▲34

貸借対照表の概要

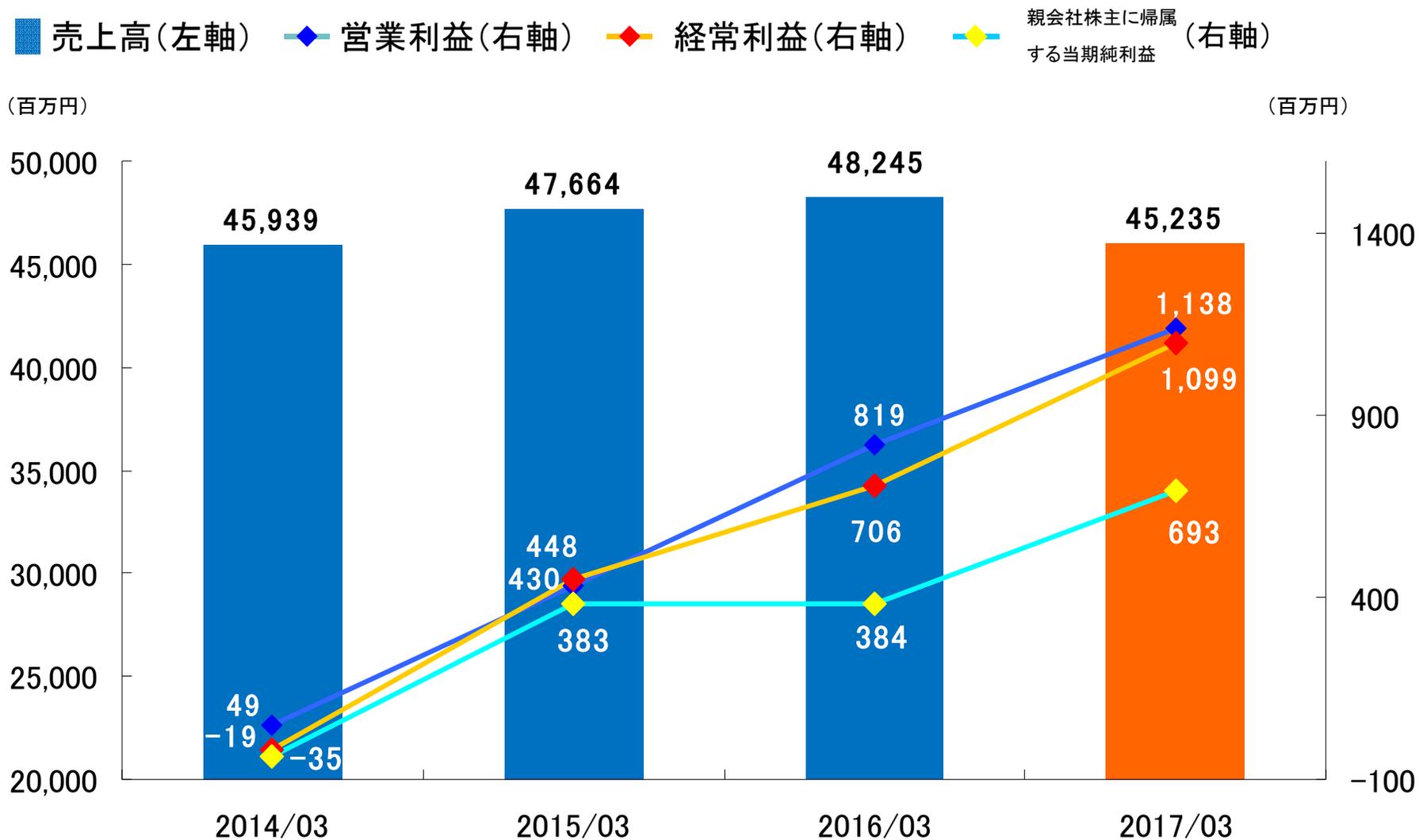
(単位:百万円)

	2016年3月期末	2017年3月期末	
			増減
流動資産	12,109	11,829	▲279
固定資産	14,797	15,892	1,095
資産合計	26,906	27,722	816
流動負債	14,504	13,303	▲1,200
固定負債	6,987	7,479	491
負債合計	21,491	20,782	▲709
純資産合計	5,414	6,940	1,525
負債純資産合計	26,906	27,722	816

キャッシュ・フロー計算書の概要

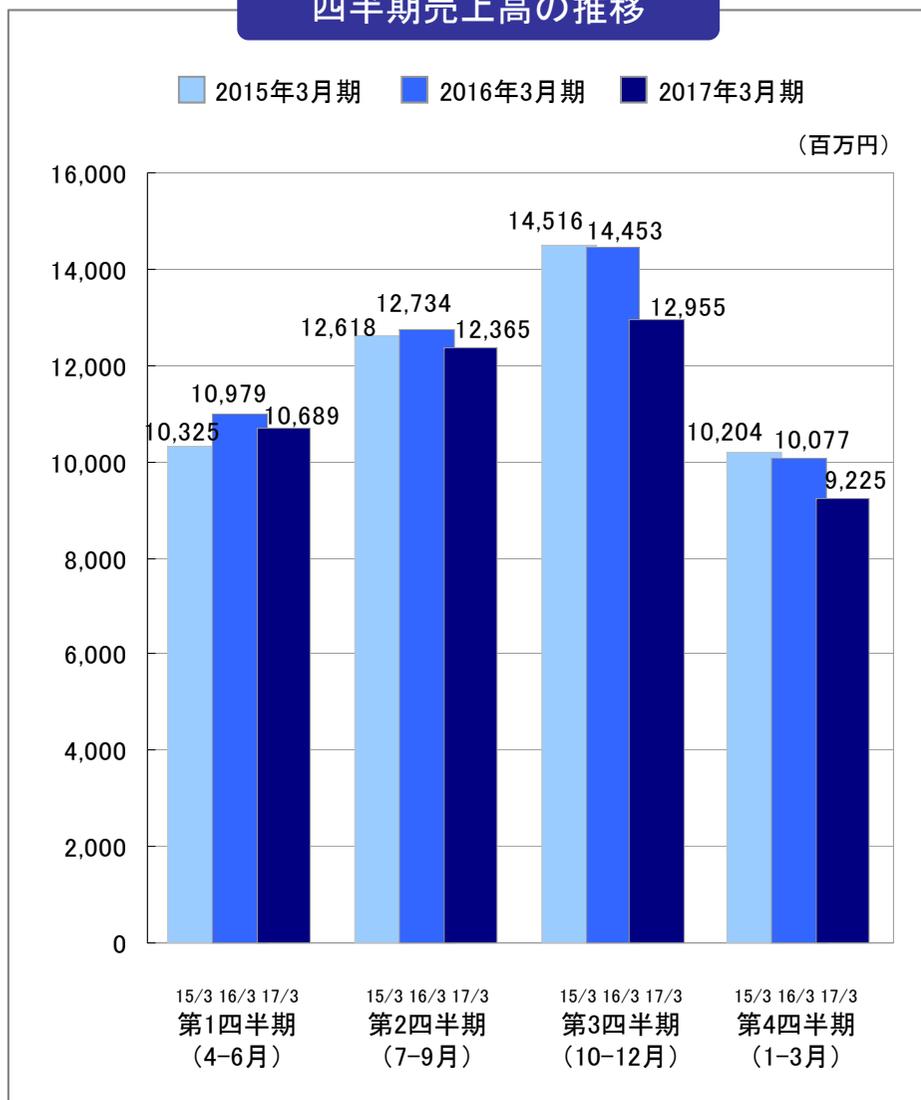
(単位:百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	
			前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,114	2,538	1,423
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲427	▲452	▲25
フリー・キャッシュ・フロー	687	2,085	1,397
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲669	▲1,409	▲740
現金及び現金同等物の増減額	17	674	657
現金及び現金同等物の期首残高	1,397	1,415	17
現金及び現金同等物の期末残高	1,415	2,090	674

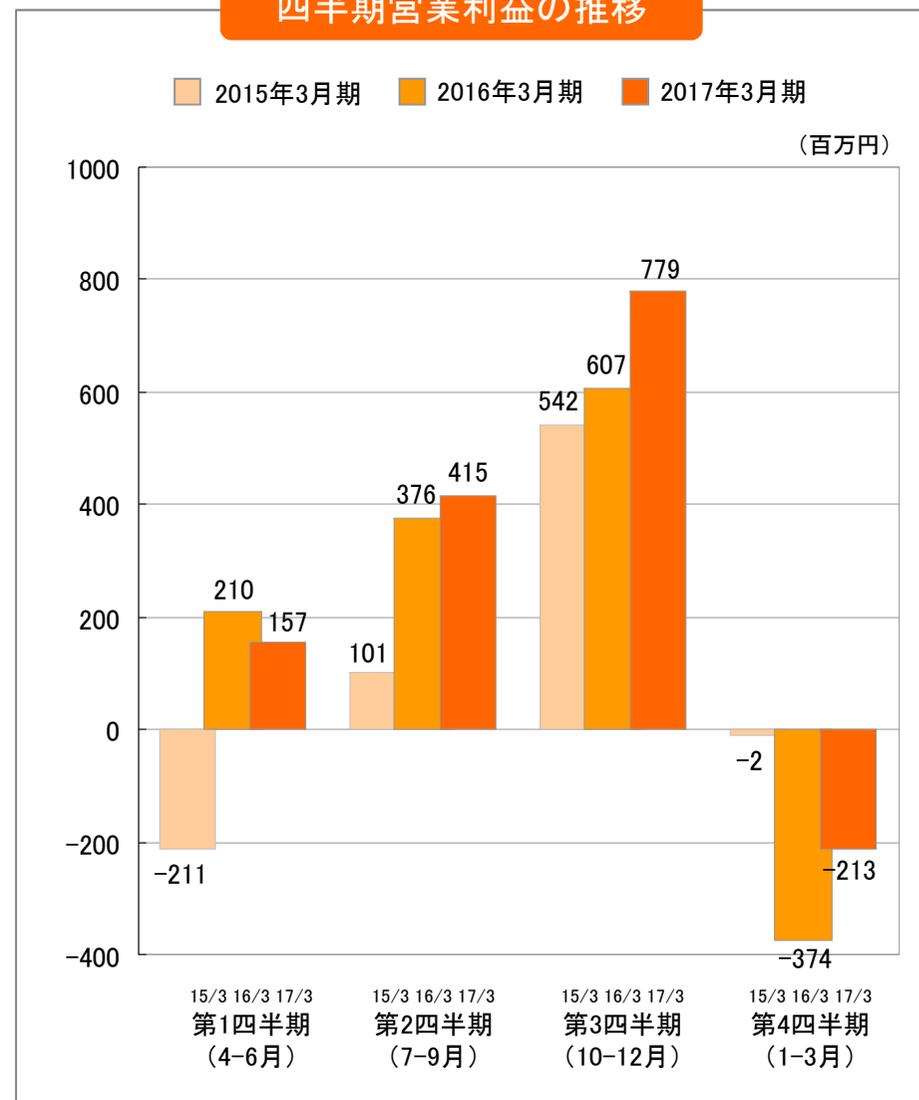


四半期業績の推移（売上高・営業利益）

四半期売上高の推移



四半期営業利益の推移

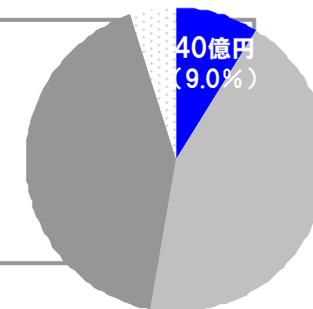


概況：機能性食品の販売数量増加により増収

水産食品事業

売上高 **40億69百万円**（前期比 5.2%増）

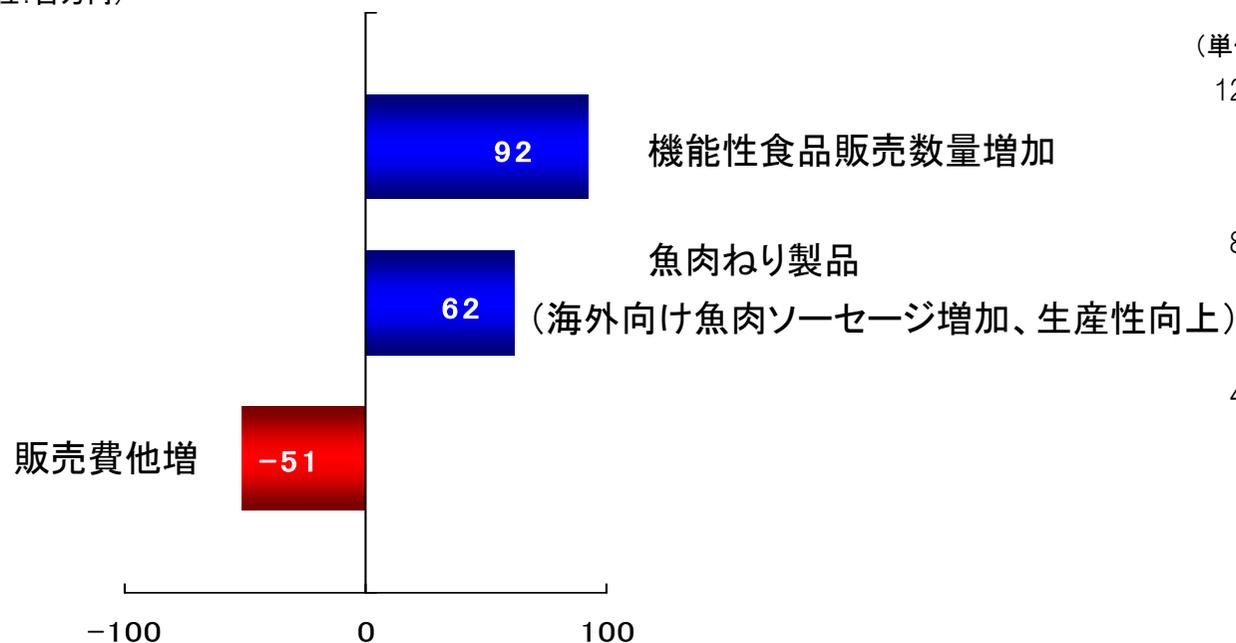
営業利益 **19百万円**（前期は83百万円の損失）



営業利益の増減要因

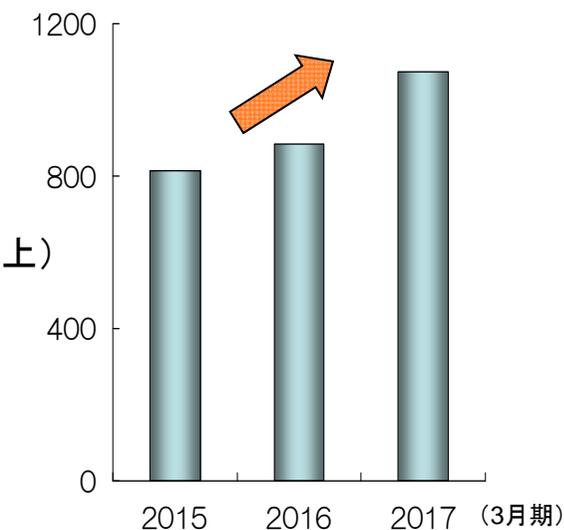
営業利益の増加 1億3百万円

（単位：百万円）



機能性食品売上高推移

（単位：百万円）

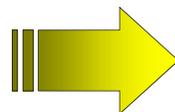


水産食品事業

施策

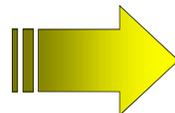
具体策

魚肉ねり製品の販売拡大



- ・海外販売 837トン（前期比 27%増）
- ・長期保存ソーセージの防災用品ルートでの販売開始
- ・工場生産性向上により収益改善

機能性食品の拡大



- ・エラスチン: バスト下垂抑制の新エビデンスを取得
中国向け販売数量大幅増加
エラスチン（前期比 88%増）
- ・ソフミート（前期比 12%増）
- ・和菓子（前期比 7%増）

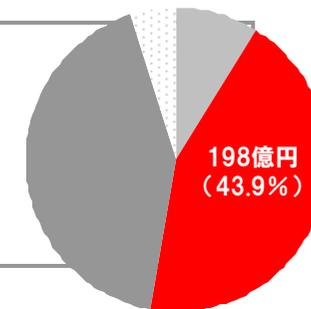
セグメントの状況（畜産食品事業）

概況：食肉加工品（OEM製品）や肉類の販売数量減少により減収

畜産食品事業

売上高 198億55百万円（前期比 6.3%減）

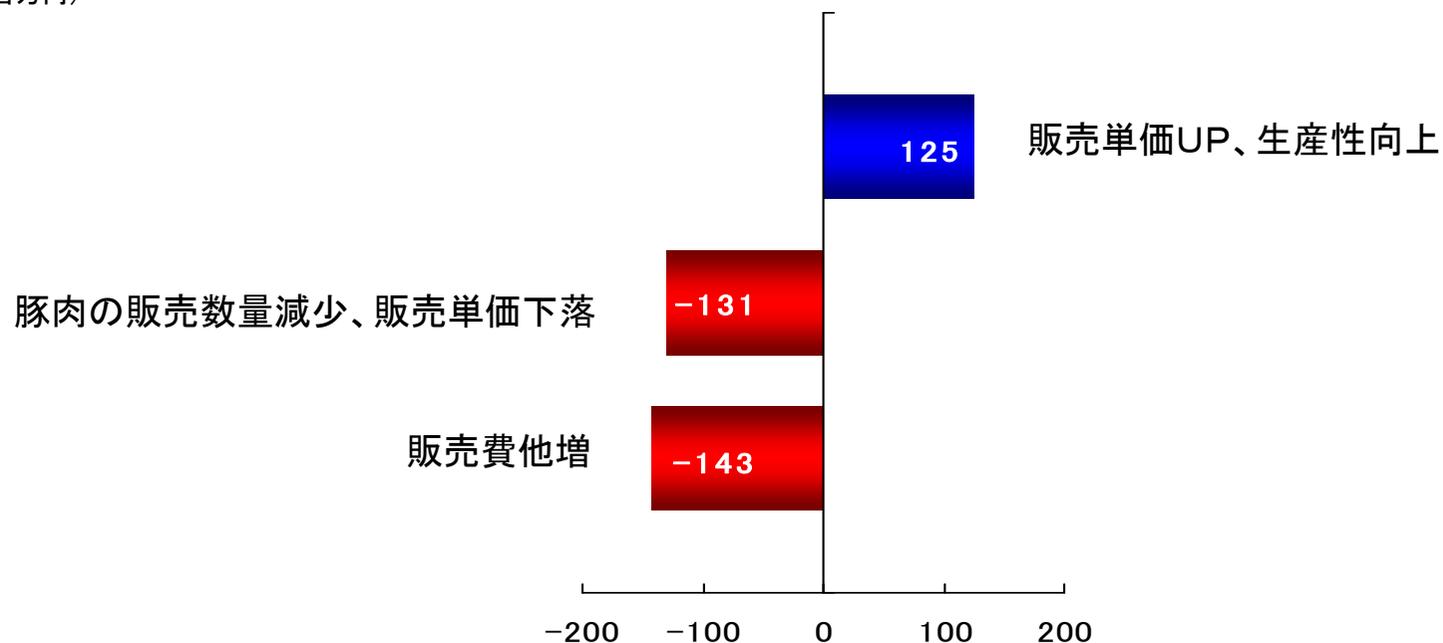
営業利益 5億89百万円（前期比 20.3%減）



営業利益の増減要因

営業利益の減少 ▲1億49百万円

（単位：百万円）

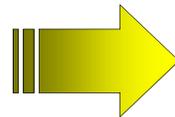


畜産食品事業

施策

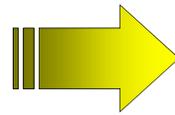
具体策

主力OEM企業との取組強化



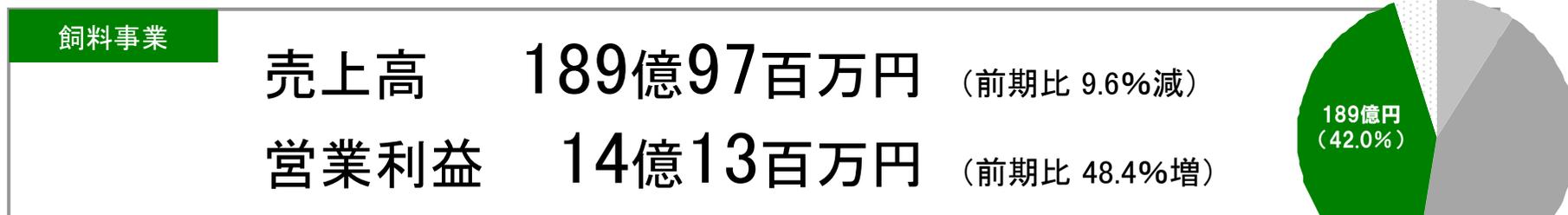
- ・スターゼン向け販売数量増加（前期比 9%増）
- ・取組強化による新製品の投入
既存製品拡販対策の実施

霧島黒豚の販売強化



- ・「霧島黒豚」標準文字登録商標認可
ブランド商品開発および販売促進
（プレミアム霧島黒豚あらびきウインナー新発売）
（大手味噌メーカーとタイアップした新しい味噌漬け商品）
（一次加工品アウトパックの売場拡大）
- ・ギフト販売（売上高前期比 16%増）
（個食化に伴う個包装・アソートギフト群の拡充）
（電子レンジ対応デリカギフト新発売）
（有名料理店監修ギフトの開拓とリニューアル）

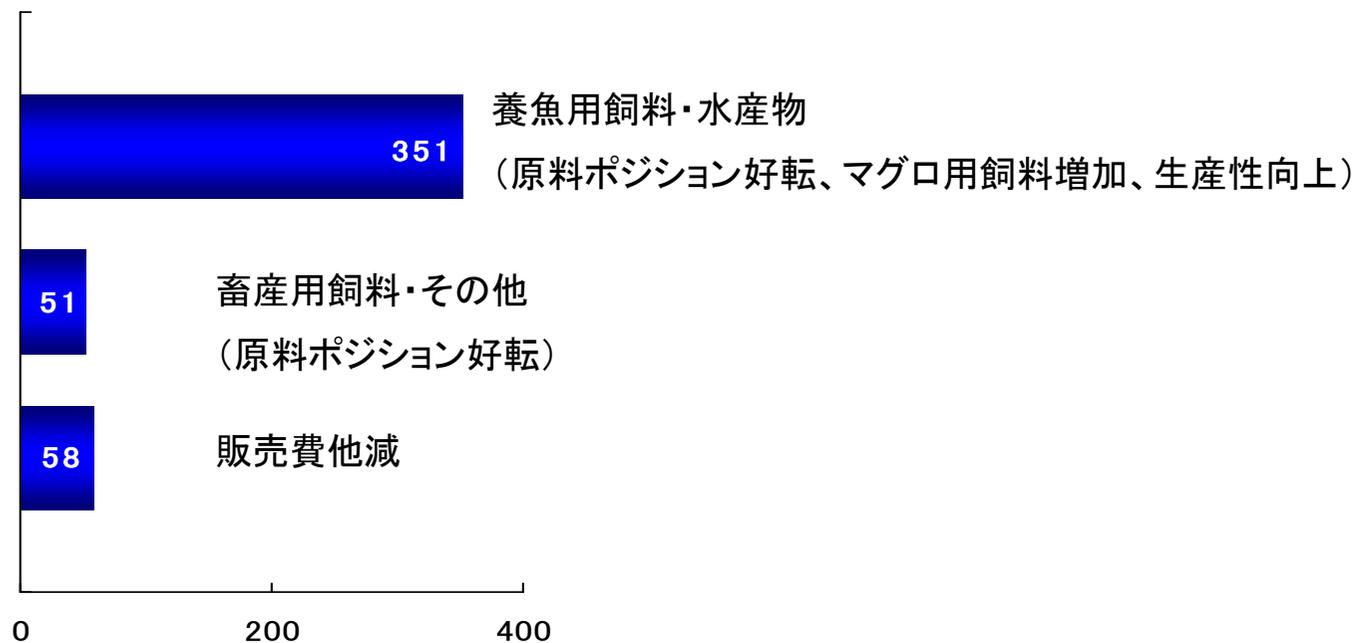
概況：養魚用飼料の値下げや輸出量減少により減収



営業利益の増減要因

営業利益の増加 4億60百万円

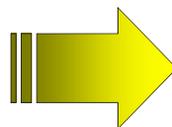
(単位:百万円)



飼料事業

施策

養魚用飼料の販売強化



具体策

- ・原料調達範囲の拡大（取引先の開拓強化）
- ・マグロ用飼料ツナフード販売の市場開拓および更なる性能向上などにより増益
（販売数量 前期比 84%増）
- ・円高推移により輸出量減少
（輸出量 前期比 69%減）

連結損益計算書

(単位: 百万円)

	2016年3月期		2017年3月期		前年増減		主な要因
	実績	売上高比	実績	売上高比	実績	売上高比	
売上高	48,245	100.0%	45,235	100.0%	▲3,009		
売上原価	41,189	85.4%	37,909	83.8%	▲3,280	▲1.6%	売上高原価率1.6ポイント改善
販売費及び一般管理費	6,236	12.9%	6,187	13.7%	▲49	0.8%	
営業利益	819	1.7%	1,138	2.5%	319	0.8%	
受取配当金	56		61		5		
その他	154		177		23		(百万円)
営業外収益合計	210		239		29		営業外収益 +29
支払利息	277		235		▲41		営業外費用 ▲43
その他	45		43		▲1		営業外損益改善 +73
営業外費用合計	323		279		▲43		
経常利益	706	1.5%	1,099	2.4%	392	1.0%	経常利益率1.0ポイントアップ
特別利益合計	22		10		▲12		(百万円)
事業整理損失引当金繰入額	—		99		99		特別利益 ▲12
その他	186		44		▲142		特別損失 ▲42
特別損失合計	186		144		▲42		特別損益改善 +30
法人税等合計	108		241		133		
非支配株主に帰属する当期純利益	49		29		▲20		
親会社株主に帰属する当期純利益	384	0.8%	693	1.5%	309	0.7%	

機能性食品の販売拡大

・エラスチン

機能性表示食品制度への対応(取得に向けてのサポート)
中国市場への更なる販売拡大

・ヒシエキス、アスコフィラン

新規エビデンスの取得
生活習慣病対応商品への採用拡大

・ソフミート(ソフト食)

大手委託給食会社との取引拡大およびPB商品開発
加工品(切り身タイプ、小判型商品)の認知度アップと売上拡大



ソフミートを使用した料理例

養魚用飼料の販売拡大

・マグロ用飼料ツナフード

性能向上により、新規ユーザーへの販売拡大

・海外販売

新規取引先国開拓

(単位:百万円)

	2016年3月期実績	2017年3月期実績	2018年3月期計画
売上高	48,245	45,235	46,000
水産食品事業	3,868	4,069	4,500
畜産食品事業	21,199	19,855	20,200
飼料事業	21,011	18,997	19,200
その他の事業	2,166	2,313	2,100
営業利益	819	1,138	860
水産食品事業	▲83	19	160
畜産食品事業	739	589	630
飼料事業	952	1,413	1,030
その他の事業	223	161	130
消去又は全社	▲1,011	▲1,044	▲1,090
経常利益	706	1,099	900
親会社株主に帰属する 当期純利益	384	693	700

 林兼産業株式会社

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

IRお問い合わせ先

林兼産業株式会社 管理本部総務部

TEL 083-266-0210

IRサイト <http://www.hayashikane.co.jp/ir/index.html>